

EV対応が「選ばれる宿」の新しい基準に。

宿泊施設向け EV充電設備 導入ガイド

メリット 補助金 導入事例

EV対応は、これからの宿泊施設に求められる新たな標準となりつつあります。
 本リーフレットでは、導入のメリットや具体的な進め方、実際の導入事例を通じて、
 EV充電設備の導入に向けた判断材料をご提供します。

EVってどんなクルマ？

「EV」は「Electric Vehicle」の略で、電気自動車のことです。
 2050年のカーボンニュートラル(二酸化炭素排出量の実質ゼロ)実現に向けて、
 世界的にガソリン車から電気自動車にシフトする動きが進んでいます。
 岡山県でも、全国に先駆けてEVの普及を強力に推進しています！

宿泊施設は「目的地充電」。

宿泊施設におけるEV充電は、滞在時間の時間を活用して行う「目的地充電」に位置付けられます。利用者が宿泊や食事を楽しむ間に充電できるため、利便性が高く、安心して移動できる環境づくりにつながります。



EV充電設備には 普通充電と急速充電があります。

急速充電は大変便利ですが、普通充電と比べて設備費、工事費、維持管理費等が著しく高額となるため、宿泊施設等に導入する場合は、普通充電が一般的とされています。



ケーブル一体タイプ
 比較的高機能なものが多く、認証機能やタッチ決済に対応できます。

EVの魅力は？



優れた走行性能

モーターで走るEVは、騒音や振動が小さく、発進時から最大トルクを発生。加速もパワフルでスムーズです。



ランニングコストが安い

車は燃費がよいほど維持費を抑えられます。EVの燃費(電費)はガソリン車より優れており、年間のランニングコストも安くなります。



災害時に役立つ

バッテリーに大容量の蓄電機能を持つEVは、移動可能な電源。停電や災害時など、もしもの時の非常用電源として役立ちます。



環境にやさしい

EVはガソリンを使用しないため走行時のCO₂の排出量がゼロ。地球温暖化対策への貢献も期待されています。

EV充電対応で“選ばれる宿”へ。

EV充電設備の導入は、利用者の利便性を高めるだけでなく、
新たな集客や満足度向上にもつながります。
これからの宿泊施設に求められる価値を高める取り組みです。

導入の
メリット
4選

集客・選ばれる施設への転換



EV利用者は充電環境の有無を宿泊施設選択の重要な基準としており、設備の整備は来訪動機の創出につながります。特に長距離移動時には、充電可能な施設が優先的に選ばれます。

競争優位性の確保



宿泊施設におけるEV充電設備の導入率はまだ低く、導入自体が差別化要素となります。早期導入により競合施設との差別化を図れ、優位なポジションを確保できます。

顧客満足度・滞在価値の向上



滞在中に充電が完結できる環境を提供することで、移動や充電の手間が軽減され、利便性が向上します。これにより滞在体験の満足度が高まり、再訪意向の向上にもつながります。

新たな収益機会の創出



EV利用者は比較的可処分所得が高い傾向があり、付加価値サービスへの支出意欲もあります。充電サービスの提供は追加収益の機会となり、高付加価値顧客の獲得や単価向上にも寄与します。

導入しない リスクも

EV対応の有無が、“選ばれるかどうか”を左右し始めています。

- 選ばれない …… EVユーザーの宿泊先候補から外れる可能性があります
- 検索に出ない …… 「EV充電あり」の検索条件で表示されにくくなります
- 競合に遅れる …… 周辺施設との差が広がり、不利になる可能性があります
- 満足度低下 …… 利用者の利便性が下がり、満足度に影響します
- 将来コスト増 …… 補助金縮小や工事費上昇で負担が増える可能性があります

花の宿 にしき園

美作市湯郷

■ 導入の背景

令和5年、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会と海外自動車メーカーとの協業で全国にEV充電設備を設置する事業が展開されました。当館ではすでに2種類の普通充電設備を設置していましたが、今回は、通りに面した建物の表側に設置できるということで、対外的なアピール効果も期待して、新たに普通充電設備2基を設置することで応募しました。

■ 導入の決め手

当館にお泊りいただくお客様の中には、EVでお越しいただく方が一定数いらっしゃいます。今後、さらにEVの普及が進み、充電設備自体が当たり前の時代になると感じていました。湯郷温泉観光案内所にも充電設備が整備されていますし、周辺の宿泊施設にも充電設備が増えてきています。

■ 導入後の変化

当館ではエントランス横の駐車場に充電設備を設置しているため、お泊りのお客様に安心してご利用いただいています。また、町を歩く湯郷温泉利用客の皆様にも目にも留まりやすく、予約につながったこともあります。

現在、SNS以外の特別なPRは行っていないですが、充電設備を導入していることが宿泊施設の高付加価値化につながっていると思います。当館はもとより、湯郷温泉全体の底上げにつながることを期待しています。

代表取締役 下山巧真さん



○設置充電設備：普通充電設備4基

○利用状況：月10回程度



Interview

導入事例紹介

EV充電設備を導入した宿泊施設に聞きました。

岡山県内で導入した宿泊施設に、導入の背景や決め手、導入後の変化について伺いました。



○設置充電設備：普通充電設備2基

○利用状況：令和8年6月から本格運用開始



国民宿舎 サンロード吉備路

総社市三須

■ 導入の背景

当施設は、総社市が指定管理者制度により運営を行う宿泊施設になりますが、近年、脱炭素社会の実現に向けてEVの普及が進む中、総社市を訪れる方々が安心してEVを利用できる環境を整える必要があることから、EV充電設備の導入を検討しました。

■ 導入の決め手

当施設は令和8年6月1日にリニューアルオープンしました。宿泊をはじめ、温泉やレストラン、ペカリーカフェ、ショップ、総社産の農作物を扱う広場のほか、タンチョウの保護と繁殖を目的とした『きびじつこの里』など多彩な施設を併設しています。様々な目的と滞在時間で多くの方が訪れる総社市の施設であることから、リニューアルのタイミングで導入することに決めました。

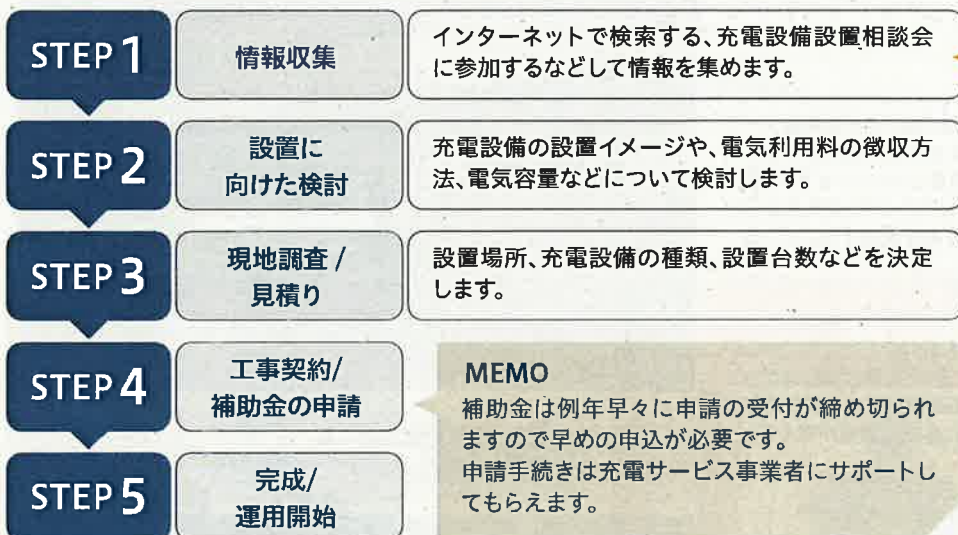
■ 導入後の変化

導入から日が浅いため大きな変化はまだ確認できませんが、リニューアルオープンの報道発表の際、充電設備の整備をご案内し、EV関連サイト等でもご案内いただくなど、PRに努めています。宿泊に関しては京阪神からのお客さまが多く、お泊りの際には、ぜひ充電設備をご活用いただければと思います。

当施設の充電設備は、総社市が充電サービス事業者を選定し、国と県の補助金を活用して設置いただいています。年4回の定期点検、支払い管理などの運営面についても設置いただいた充電サービス事業者にお任せしています。

副支配人・営業部長 平松徹夫さん

充電設備導入の基本的なSTEP



岡山県ではセミナー & 無料相談会を岡山・津山2か所の会場で開催予定です。

EVの基礎知識や宿泊施設に求められる充電環境を学べるほか、充電事業者と直接話ができて、その場で導入検討を進められる充実した内容です。



お申し込み
フォーム

STEP 3 と STEP 4 は充電サービス事業者を利用すれば様々なサービスが受けられます。

充電設備の普及に伴い、国と県の補助金を活用しながら、設備の設置から維持管理までをサポートしてくれる充電サービス事業者が増えています。ぜひ一度ご相談してみたいかがでしょうか？

※充電サービス事業者を通さず充電設備を設置することも可能です。

事業者が 全面サポート	設置場所の検討 / 現地調査 / 設計計画の作成 / 予算立て / 工事スケジュールの調整 / 工事契約 / 設置工事 / 補助金の申請事務
基本的に事業者実施 (プランによっては有償の ケースもあります)	充電設備の維持管理(故障・修理対応など) 問い合わせ等への対応

●東京都マンションEV充電器情報ポータルに掲載の「充電サービス事業者」の紹介ページです。事業者選定の際の参考にご活用ください。

▶ https://www.tokyo-evcharge.metro.tokyo.lg.jp/seach_jigyousha/ ※東京都が特定の事業者やサービスを推奨するものではありません。



国と県の補助金を合わせると負担額が大幅減！

令和8年度の国の補助制度では、「設備費の50%、工事費の100%」が補助されます。一般的な工事内容であれば、右図のようなイメージで充電設備を設置できます。



●詳しい国の補助制度についてはHPでご確認ください。

一般社団法人次世代自動車振興センター
▶ <https://www.cev-pc.or.jp/>



●詳しい県の補助制度についてはHPでご確認ください。

▶ <https://www.pref.okayama.jp/page/1028182.html>



主な補助内容

- 補助率 1/2 ○補助上限額 18万円
- 補助要件: 公道に面し出入自由、利用者を限定せず、案内板を設置、充電料金を徴収、リース可など

充電事業者が提供する充電サービスは、事業者によって様々です！

充電事業者によって、提供される充電サービスの内容や求められる条件等も異なります。また、費用負担も様々ですので、しっかりと比較することが重要です。

主な
注意点

- ・充電器の所有権(管理組合か、事業者か)
- ・契約期間年数
- ・設置可能台数
- ・受電工事内容
- ・充電料金(課金方式)、電気料金の負担
- ・維持管理、修繕費用の負担

連絡先

岡山県環境文化脱炭素社会推進課普及班

Tel: 086-226-7297

Mail: datsutanso@pref.okayama.lg.jp

2026.8